

## 研究に関する情報公開

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年11月 福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 楠本泰士

### 【研究課題名】

下肢装具の有無での歩行と走行の変化の検討

### 【研究期間】

2021年11月～2023年3月

### 【研究の意義・目的】

脳性麻痺患者は、中枢性神経障害により異常歩行を呈します。特に歩行可能な脳性麻痺患者に対してのリハビリテーションで実施される装具療法は、機能維持や変形予防の観点から重要と考えられています。装具療法は発達障害児に対しても実施されており、幼少期から足底装具（インソール）が処方されています。しかし、日々の臨床での効果判定は、目視による動作分析が中心となっており、装具療法の効果判定は定量的でなく不十分という問題があります。

そこで本研究では、歩行可能な脳性麻痺患者と発達障害の患者における下肢装具の有無における歩行と走行の変化を明らかにすることを目的に、日常の診療で実施されているビデオによる観察的な歩行評価であるEdinburgh Visual Gait Score (EVGS)と運動学的な分析の可能なGait up (Gait up SA社製)にて検討します。

### 【研究の対象となる方】

2010年1月から2021年11月までの期間に、埼玉県立小児医療センター、東京リハビリ整形外科クリニックおおた、まちだ丘の上病院において理学療法を受けた患者さんのうち、以下のすべてに該当する方

- ・4歳から60歳
- ・痙直型脳性麻痺、発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症）、運動発達遅滞と診断されている
- ・何らかの下肢装具を使用している
- ・10mの歩行路を簡易な指示で歩行、走行できる

### 【研究の方法】

- ・本研究では、研究対象者の内訳がわかるように、疾患名・年齢・性別・GMFCSレベルをカルテから取得します。また、装具作成の際に記録している歩行ビデオと、歩行や走行の運動学的な解析機器であるGait upのデータを施設内のデータベースから収集します。
- ・歩行ビデオは、EVGSを用いて各施設内で解析します。また、Gait upのデータとともに、裸足と装具使用時の各データを比較します。
- ・データは各共同研究機関において匿名化され、福島県立医科大学に集められ、分析されます。

### 【研究組織】

研究代表者 （所属）福島県立医科大学 （氏名）楠本泰士

共同研究機関・研究責任者

（所属）埼玉県立小児医療センター （氏名）阿部広和

(所属) 東京リハビリ整形外科クリニックおおた (氏名) 佐々木優太

試料・情報の提供のみを行う機関・担当者  
(所属) まちだ丘の上病院 (氏名) 楠本泰士

【他の機関等への試料等の提供について】

提供はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号  
公立大学法人福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 担当 楠本泰士  
電話: 024-581-5543 FAX: 024-581-5528  
E-mail: kusumoto@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号  
公立大学法人福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 担当 楠本泰士  
電話: 024-581-5543 FAX: 024-581-5528  
E-mail: kusumoto@fmu.ac.jp